

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター さんぼみち		
○保護者評価実施期間	2023年4月1日	～	2024年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 33	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2023年4月1日	～	2024年4月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 17	(回答者数)	17
○事業者向け自己評価表作成日	2024年4月1日		
○分析結果			
	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりに合わせた支援や視覚的配慮	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子に合わせて、人数調整やグループ編成をしている。 個別対応や2～3人でのとりだし保育をしている。 	<p>今後もスタッフ間の共有を密にしていく。状況により、保護者に丁寧な説明を行いながら、支援方法やグループ編成を見直していく。</p>
2	スタッフ間での情報共有や連携で、スタッフがチームとして、支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 月2回のミーティングや朝カンファレンス、日々の話し合いの時間を作っている。 複数グループの振り返りを持ち寄って検討をしている。 	<p>前日の振り返り状況、変更点などを、朝の申し送りで検討する。支援実施をして、再度振り返りする。</p>
3	保護者や関係機関との丁寧なコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から、保護者に丁寧に声をかけ、相談しやすい雰囲気づくりをしている。相談に対しては早急に対応するように心がけている。 おたよりや連絡ツールで、やりとりをしている。 医療機関や通園先と積極的に連携し、情報共有や話し合いの場を設けている。 	<p>今後も日頃からの声掛けを続けていく。保護者や関係機関の視点からの共有方法のやりやすさを検討する。</p>
	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	困っている保護者への対応	保護者の困り感は拾っているが、支援方法がわかっていない。	申し送りや振り返り、ミーティングなどで、保護者の困り感を取り上げ、チームで検討していく。
2	支援内容の具体化	日々の様子は伝えているが、具体性が乏しい。また、その支援が子どもたちにとって何が起きているのか、伸びているのかがわかりにくい。	振り返りで出たことを検討し、何をすればよいのかを具体的に決めていく。決めたことを実施し、1週間後さらに数か月後に振り返り、検討をする。
3	施設環境、安全管理	施設の老朽化 細かい部分の清掃	老朽化している部分の修繕。 清掃分担を細かくして、より丁寧な清掃を行う。